

家庭にいる児童生徒に学びの機会を確保するICT活用について

不登校児童生徒の状況によっては、ICT等を活用した交流や学習活動が有効である場合があります。学習への取組や成果を積極的に評価し、児童生徒の努力を認めることで、自己肯定感を高めるとともに、社会的自立に向けた成長支援が期待できます。

【ICTを活用した支援の例】

- ・自宅や教育支援センターからオンラインで授業に参加
- ・自宅と教育支援センターをオンラインで接続した学習支援や相談
- ・民間事業者が提供するICT等を活用した学習活動



GMN構築事業では、家庭とフリースクールをオンラインでつなぐ学習・居場所支援として「オリナスオンライン」を実施しました。支援に関わった関係者から次のような声が届いています。

詳細な報告をいただき、本人の居場所になっているようで安心しました。オリナスに参加してから家庭訪問時に会えることも増えました。
(教諭)

参加できたことがとてもうれしいです。毎回、何をしたら報告してくれています。家にずっともっていて誰とも話す機会が無いので、いいきっかけになっています。
(保護者)

初めは、チャットのみでの参加でしたが、スタッフと関係がくれたことにより、音声で参加することができるようになりました。
(スタッフ)

【参考】国の不登校児童生徒支援の方針や関連資料

誰一人取り残されない学びの保障におけた不登校対策について、改めて関連資料を確認することで、不登校児童生徒に対する働きかけの選択肢が広がります。

不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方 ※令和元年10月25日文科科学省通知より(①)

- ・児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立を目指す
- ・不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つ
- ・学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクを考慮する

COCOLOプランに基づく対策 ※令和5年3月策定(②)

- ・不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整える
- ・心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
- ・学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする



教育機会確保法の周知 ※平成28年12月14日公布(③)、令和5年10月周知パンフレット公開(④)

- ・よりよい学校づくり
- ・不登校が問題行動であると受け取られないような配慮
- ・社会的自立の尊重
- ・民間との連携
- ・学校内外の学び場の整備
- ・一人一人に合った支援

①



②



③



④



「学び場」っていろいろあるんだね

すべての子供たちの学びの機会や社会とのつながりを確保するために

国の調査によると、学校内外の専門家や機関による相談・支援を受けられていない不登校児童生徒は約4割おり、群馬県も同様の状況にあります。年々増加傾向にある不登校児童生徒に対して、各学校では、本人や保護者の意思を尊重しながら、様々な支援が行われています。

このような状況の中、不登校児童生徒の社会的な自立を実現するためには、すべての子供たちの学びの機会や社会とのつながりを確保する観点から、学校外の学び場との連携が効果的である場合もあります。

そこで、県教育委員会では、令和4年度から「ぐんまMANABIBAネットワーク構築事業」を実施し、情報収集や周知・啓発、教育支援センターやフリースクール等民間団体の関係者との意見交換を行ってきました。不登校に関わる様々な支援や事業を通して得られた学校外の学び場の様子などを本リーフレットにまとめました。



学校外の学び場との連携

【すべての子どもたちが学び続けるために】

児童生徒が学校に登校できない状況が続いたとき、先生方や保護者等、周りの大人たちが、その子にあった支援を模索する中で、「学校外の学び場にはどのようなところがあるのか」「相談できる窓口はどこにあるのか」といった情報が必要になるのではないのでしょうか。

そこで、県教育委員会では、R6年度より『心と学びのサポートセンター「つなぐん」』を県総合教育センター内に開設し、不登校やいじめ、子育て等、児童生徒や保護者が抱える悩みや不安にワンストップで対応します。

相談窓口や学校外の学び場については、県のホームページでも公開し、関連情報の周知・啓発に取り組んでいます。二次元コードを読み込んでいただくと「県内の教育支援センター」「県内のフリースクール等」「オンライン支援『つなサポ』」等の情報が閲覧できます。是非、ご活用ください。



学校外の学び場における専門家(自立支援アドバイザー)による支援

心理や福祉の資格をもつ専門家である自立支援アドバイザーを県総合教育センターに配置しています。市町村教育委員会から派遣依頼を受けて、教育支援センターに訪問し、支援を行うことができます。令和4年度からは、フリースクールへの支援も可能となっています。

在籍校に教育支援センターやフリースクール等に通室している児童生徒がおり、自立支援アドバイザーを活用した支援を希望する場合には、市町村教育委員会にご相談ください。

例えば、こんな場面で活用が可能です。
 ○スクールカウンセラーの面談につなげたいが、児童が学校へ登校できていない。
 ○最近、生徒が元気がなく、教育支援センターも休み始めた。保護者も悩んでいるようだ。
 ○フリースクールとの情報交換で、心配な言動が見られたとの報告があった。

【主な業務内容】

- ・教育支援センターやフリースクール等に通室している児童生徒や保護者との面談
- ・不登校児童生徒の家庭への訪問支援（アウトリーチ型支援）
- ・学校復帰に向けた学校との連携サポート 等



【活用事例】

○教育支援センターやフリースクールにおいて、保護者との面談を実施し、今後の支援の方向性について、指導員やスタッフ、学校と情報を共有した。

○児童生徒と関わりながら、相談員に指導や支援のポイントについて助言したり、ケース会議に参加したりした。



○児童生徒への、ソーシャルスキルトレーニングやこころの授業を教育支援センターで実施した。



学校外の学び場の1日の流れ

※1日ずっと活動するというのではなく、午前中に学習して午後は帰宅したり、午後の活動だけ参加したり、活動は様々です。

学校外の学び場では、学校と同様に、児童生徒の主体性を尊重した活動が設定されています。始業の時刻や活動時間などにゆとりをもたせ、児童生徒の状況に応じて柔軟に対応しています。

教育支援センターやフリースクール等では、朝の会や帰りの会等、学校の生活リズムに合わせたスケジュールを設定しているところや、読書や好きなことを通して1日のウォーミングアップを行っているところもあります。また、ICTを活用して、オンラインによる交流や活動を行っているところもあります。



【教育支援センターの例】

時間	活動
9:30~	・朝の会 ・一日の計画づくり
午前	・自分で決めた学習を自分のペースで取り組む ・在籍校の定期テストを受ける
12:00~	・昼食を職員と一緒に食べる
午後	・自分で決めた探究課題に取り組む
15:00~	・帰りの会 ・1日の振り返り

<相談までの流れ>
 ・管理職から市町村教育委員会へ連絡

【フリースクール(オルタナティブスクール)等の例】

時間	活動
9:30~	・読書(ウォーミングアップ) ・今日やりたいことを自分で決める
午前	・自分で決めた学習を自分のペースで取り組む ・英検の資格取得に向けた模擬試験
12:00~	・お弁当を好きなスペースで食べる
午後	・自分で決めた体験活動に取り組む
15:00~	・清掃 ・振り返りの時間

<相談までの流れ>
 ・保護者から直接フリースクール等へ連絡
 ・学校からフリースクール等へ連絡

学校外の学び場との連携による成果

GMN会議での情報交換では、学校と教育支援センターやフリースクール等との連携による成果等の多くの事例が紹介されました。その一部を紹介します。

柔軟な受入れ体制

- 別室登校やオンライン支援に加え、学校外の学び場といった複数の選択肢の中から自分で選べるようにしたことで、一歩踏み出すことができ、継続して活動できた。
- 自宅や教育支援センターと在籍校の教室をオンラインでつないだことで、授業へ意欲的に参加したり、休み時間に友達とうれしそうにやり取りをしたりしていた。

情報の共有

- フリースクールから定期的にメールや電話での連絡、訪問による情報交換があり、子供の状況を把握することができた。
- 学校と保護者、フリースクールの間で、子供の頑張りを共有し、直接本人にフィードバックすることで、子供の気持ちが安定し、のびのびとした姿を見せるようになった。担任が見に来るとうれしそうにしていた。

児童生徒の達成感

- 地域の方との交流を通して、人との関わりの楽しさを味わったり、他者に認められる体験を積み重ねたりでき、自分に自信をもてるようになった。
- 教育支援センターにおける異年齢交流を通して、年下の子の手伝いをしたり、協力したりする体験から、役割を果たした達成感を味わい、自己有用感を高めることができた。結果、登校へつながった。

体験活動の場の提供

- 施設内で体を動かす活動に加え、屋外で体を動かす活動に参加することは、児童生徒により刺激を与えるとともに、保護者の安心にもつながっている。

【体験活動の例】

- ・バドミントンや卓球といったスポーツ
- ・屋外での動植物とのふれあい
- ・遠足やハイキング
- ・農業体験(栽培から収穫まで)
- ・調理実習(ケーキ、チョコレート作り)

